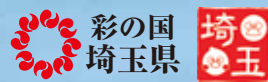


令和5年度 秋期企画展



# ひと・もの・はこぶ

秩父から／秩父へ



写真提供:西武鉄道株式会社



2023.9.23 [土・祝] ▶ 11.26 [日]

休館日:毎週月曜日(祝日は除く)

開館時間:9:00~17:00

会場:埼玉県立川の博物館 第2展示室

撮影協力:秩父鉄道株式会社





# ひと・もの・はこぶ



埼玉県立川の博物館ではこれまでに一級河川荒川にまつわる自然や文化に関わる企画展示をおこなってきました。

本展示は近代以降、特に大正から平成にかけての交通と物流に注目し、上流部にあたる秩父地方から下流の平野部に向かって運ばれるモノやヒトの往来について紹介します。荒川と並行する秩父鉄道は100年以上の歴史を誇り、旅客列車だけでなく採掘された石灰石を運ぶ貨物列車も運行しています。山深い奥秩父で切り出された木材は、河川の流れを利用した運搬がおこなわれてきましたが、トロッコ軌道やトラックによる運搬に変遷しました。1969年に開通した西武鉄道西武秩父線は秩父地方と東京都内を直接結ぶ足として高い利便性を誇っています。また、日常の足として路線バスや、かつて運行されていた河川の渡し舟、観光地のロープウェイや川下り舟なども紹介します。

## 展 示 内 容

### 1 木材・木炭をはこぶ

秩父地方では、切り出した木材は近代では森林軌道が開通し、トロッコによる運搬がおこなわれてきました。やがてトラックが主流となりますが、森林軌道は1970年代まで活躍しました。また、豊富な木材を材料に、木炭の生産も盛んにおこなわれ、人力やトロッコで運び出されていました。



トラックで運ばれる木材

#### 主な展示資料

- 近代の木材運搬関係資料(トロッコ模型等)
- 炭俵(丸型・角型)
- 運搬用小道具(荷鞍、背負子、鷹口、蹄鉄など)
- 近代の木材輸送の様子(写真資料)

### 2 石灰石・セメントをはこぶ

秩父鉄道では大正初期から貨物列車による石灰石の輸送が始まり、現在でも運行されています。かつては製品のセメントも秩父鉄道、西武鉄道の貨物列車で運ばれていましたが、現在は運行を終了しています。



石灰石を運ぶ秩父鉄道の貨物列車

#### 主な展示資料

- 石灰石(標本)
- 貨物列車鉄道模型ジオラマ(秩父鉄道)
- 西武鉄道E851形電気機関車制御装置・計器類・銘板類

### 3 人々をはこぶ(観光・旅客)

秩父地方の鉄道は、1914年の秩父鉄道の秩父駅開業に始まり、1969年には西武鉄道西武秩父線が開業し、東京都内へ直通の特急ちちぶ号の運行が始まっています。荒川川下りの観光船や、鉄道を補完するインフラとして、路線バスやロープウェイも紹介します。



開業当時の秩父駅(写真提供:秩父鉄道株式会社)

#### 主な展示資料

- 秩父鉄道の旅客鉄道関連資料(乗車券類など)
- 西武鉄道5000系特急レッドアロー号の座席など
- 渡し舟、路線バス、ロープウェイなど様々な交通手段の様子(写真資料)

## 関連イベント

### SLリバサポ号

熊谷駅から三峰口間を走るSLパレオエクスプレスで、当館学芸員が「埼玉県の母なる川 荒川」を車内アナウンスにてガイドいたします。



日 時: 令和5年10月1日(日) 11時頃～11時30分頃(予定)  
 場 所: SLパレオエクスプレス車内(ガイド実施区間はくんだり寄居～長瀬間を予定)  
 ※SLは事前予約による全席指定席です。ご乗車には乗車区間の乗車券・SL指定席券が必要です。

### 学芸員による展示解説

本企画展について担当学芸員が解説をします(30分程度)

日 時: ①令和5年10月8日(日) 14:00～  
 ②令和5年11月14日(火) 14:00～  
 定 員: 各回10名程度  
 会 場: 第2展示室  
 参加費: 無料

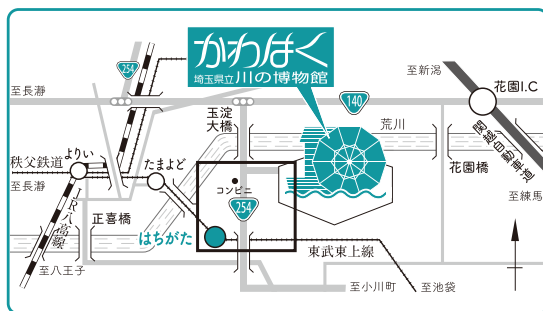


〒369-1217 埼玉県大里郡寄居町小園39  
 Tel: 048-581-7333

Fax: 048-581-7332  
 E-mail: web-master@river-museum.jp

かわはく

https://www.river-museum.jp/



自動車 ▶ 関越自動車道「花園」ICより8分  
 電車+徒歩 ▶ 東武東上線「鉢形駅」下車徒歩20分  
 電車+タクシー ▶ 寄居駅下車タクシーで7分  
 駐車料金 普通車:300円 バス:1,030円